

都市軸道路利根川橋梁（仮称）の  
新規事業化に関する要望書

令和7年1月22日

千葉県

茨城県

千葉・茨城 都市軸道路整備促進期成同盟会

## 都市軸道路利根川橋梁(仮称)の 新規事業化に関する要望書

埼玉県三郷市から千葉県を經由し茨城県つくば市を結ぶ都市軸道路は、つくばエクスプレス（TX）と連動して、未来志向のまちづくりの基盤となり、埼玉・千葉・茨城3県連携の軸となる広域的な幹線道路です。

これまで、都市軸道路については、令和5年11月に埼玉県と千葉県を結ぶ三郷流山橋有料道路が開通し、令和6年7月には茨城県つくばみらい市からつくば市までの区間が開通するなど、全線開通に向け、着々と整備を進めており、千葉県、茨城県の残る未着手区間は利根川渡河部のみとなっております。

千葉県及び茨城県のTX沿線地域では、鉄道の整備に併せてまちづくりが進められ、平成17年8月のTX開業後、TX沿線地域を中心とした大規模な住宅・商業エリアの整備、広域的な道路ネットワークの構築が着々と進められており、地域の発展、人口の増加が図られております。なかでも都市軸道路周辺の千葉県柏市の柏の葉周辺や、茨城県守谷市の守谷SA周辺においては、区画整理などの開発が進められているほか、茨城県つくばみらい市においても、新たに工業団地が整備され企業の立地が決定するなど、今後も持続可能なまちづくりが進められているところです。

一方、千葉県柏市と茨城県守谷市周辺の利根川渡河部においては、一般道の渡河橋梁の間隔が最大で約13キロメートルと広く、その限られた橋梁に交通が集中していることから、慢性的に混雑が発生し、県境間の交流・連携、物流などの妨げとなっております。今後のまちづくりの進展に伴い、更なる人口増加、経済活動の発展が見込まれており、将来的に発生する交通需要への対応が必要となっております。

また、都市軸道路の利根川渡河部が開通することで、首都直下地震などによる災害時の救命活動や復旧活動におけるリダンダンシーの確保が図られ、常磐自動車道や国道6号などとあわせて、防災・減災、国土強靱化に資する道路としての役割が期待されます。

つきましては、「都市軸道路利根川橋梁(仮称)」の早期整備に向け、次の事項について、特段のご高配を賜りますようお願いします。

- 1 緊急輸送道路である常磐自動車道を補完し、千葉県・茨城県にまたがる地域の国土強靱化に資する都市軸道路利根川橋梁(仮称)新設事業を、早期に補助事業として採択し、新規事業化すること。
- 1 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の最終年度となる令和7年度においても、必要な予算・財源を確保すること。
- 1 令和6年能登半島地震などの大規模地震や、今夏各地を襲った豪雨による災害などを踏まえ、既設構造物の機能強化などを、切れ目なく継続的・安定的に推進するため、国土強靱化実施中期計画を早期に策定し、必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保すること。
- 1 激甚化・頻発化する大規模自然災害の脅威・危機に即応するための地方整備局等の体制の充実・強化や災害対応に必要な資機材の更なる確保に取り組むこと。
- 1 我が国の生産性を向上させ、成長力及び国際競争力の強化、さらには地方創生に必要な道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源の創設等により、令和7年度道路関係予算は、賃金水準などの上昇も加味した上で、必要な予算を満額確保すること。

令和7年1月22日

千葉県知事 熊谷 俊人

茨城県知事 大井川 和彦

千葉・茨城 都市軸道路整備促進期成同盟会

会長 つくばみらい市長 小田川 浩

# 千葉・茨城 都市軸道路整備促進期成同盟会

役 職	職 名	氏 名
会 長	つくばみらい市長	小 田 川 浩
副 会 長	柏 市 長	太 田 和 美
副 会 長	守 谷 市 長	松 丸 修 久
理 事	流 山 市 長	井 崎 義 治
理 事	つ く ば 市 長	五 十 嵐 立 青

